

## 8.11 水利用

### 8.11.1 調査事項

調査事項は、表 8.11-1 に示すとおりである。

表8.11-1 調査事項（東京2020大会の開催後）

区 分	調査事項
予測した事項	・水の効率的利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・節水設備の状況
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保水性の良い馬場構造を採用することにより、馬場への散水量を従前の馬事公苑より30%低減する計画となっている。馬事公苑内の馬場散水必要量は47t/日と想定しているが、従前と同様に井水と上水を併用する計画であり、取水制限の範囲内で、必要量の4割強に当たる20tを井水利用する予定としている。</li> <li>・メインオフィスや管理センター等に、節水型便器、擬音装置を設置する。</li> <li>・必要に応じて利用者に対する節水を周知する。</li> </ul>

### 8.11.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.11.3 調査手法

調査手法は、表 8.11-2 に示すとおりである。

表8.11-2 調査手法（東京2020大会の開催後）

	調査事項	水の効率的利用への取組・貢献の程度
	調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とした。
調査期間	予測した事項	2021年の適宜とした。
	予測条件の状況	2021年の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	2021年の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

#### 8.11.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

ア. 水の効率的利用への取組・貢献の程度

本施設は、2023 年秋まで 2 期工事中であり、再開苑は 2023 年秋以降であることから、水利用の実績値はまだない。

2) 予測条件の状況

ア. 節水設備の状況

本事業は、馬術競技会場（クロスカントリーを除く）の整備を行うもので、節水の取組みとして、保水性の良い馬場構造を採用した。また、メインオフィスや管理センター等においては節水型便器や擬音装置を設置し、節水対策が行われている。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.11-3 に示すとおりである。なお、水利用に関する問合せはなかった。

表8.11-3 ミティゲーションの実施状況（東京2020大会の開催後）

<p>ミティゲーション</p>	<p>・保水性の良い馬場構造を採用することにより、馬場への散水量を従前の馬事公苑より30%低減する計画となっている。馬事公苑内の馬場散水必要量は47t/日と想定しているが、従前と同様に井水と上水を併用する計画であり、取水制限の範囲内で、必要量の4割強に当たる20tを井水利用する予定としている。</p>
<p>実施状況</p>	<p>競技場の表層材にはフェルト材が混合されており、クッション性とともに保水性の高い馬場構造とした。散水には従前と同様に井水と上水を併用することとしている。</p>
	
<p>練習馬場</p>	<p>防災用井戸</p>
<p>ミティゲーション</p>	<p>・メインオフィスや管理センター等に、節水型便器、擬音装置を設置する。</p>
<p>実施状況</p>	<p>メインオフィスや管理センター等のトイレに、節水型便器、擬音装置を設置し、節水対策が行われている。</p>
	
<p>節水型便器</p>	<p>擬音装置</p>
<p>ミティゲーション</p>	<p>・必要に応じて利用者に対する節水を周知する。</p>
<p>実施状況</p>	<p>馬事公苑は整備工事のため休苑中であり、再開苑は2023年秋を予定している。再開苑後、節水の周知を行う予定である。</p>